

## 第1章 調査の概要等



## 1 報告書を利用するに当たって

- ・回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。
- ・百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、構成比合計が100%にならないことがある。
- ・複数回答の設問の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・図表中の構成比「0.0」は、四捨五入の結果か回答者が皆無であることを表している。
- ・各質問の回答者数（N）は、性別や年齢などの属性が不明の回答があるため、全体数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- ・選択肢等の文章が長い場合、省略して表記していることがある。
- ・記述式の回答については、一部修正やまとめ等を行うとともに、主な意見を掲載している。
- ・本報告書における「圏域」は日常生活圏域を指し、これと地域包括支援センター及びその担当地域の関係は次のとおりである。

圏域	地域包括支援センター名	担当地域名
中部圏域	田無町地域包括支援センター	田無町
		保谷町
	泉町地域包括支援センター	北原町
		泉町
南部圏域	新町地域包括支援センター	住吉町
		新町
		柳沢
	向台町地域包括支援センター	東伏見
		南町
向台町		
西部圏域	西原町地域包括支援センター	西原町
		芝久保町
	緑町地域包括支援センター	緑町
		谷戸町
		ひばりが丘
北東部圏域	富士町地域包括支援センター	東町
		中町
		富士町
	栄町地域包括支援センター	ひばりが丘北
		北町
		栄町
		下保谷

## 2 調査の種類と対象者

本報告書では、以下の10種類の調査を掲載している。

調査の種類と対象者

調査種別		対象者	配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
1	高齢者一般調査	市内の介護保険第1号被保険者（要支援・要介護認定者を除く）	2,400	1,766	73.6%	1,738	72.4%
2	若年者調査	市内在住の55歳～64歳の人（要支援・要介護認定者を除く）	1,500	865	57.7%	855	57.0%
3	介護保険在宅サービス利用者調査	要支援・要介護認定者のうち、介護保険居宅サービスを利用している人	1,000	612	61.2%	529	52.9%
4	介護保険施設・居住系サービス利用者調査	要支援・要介護認定者のうち、介護保険施設、グループホーム、有料老人ホーム等に入所している人	500	256	51.2%	169	33.8%
5	介護保険サービス未利用者調査	要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービスを利用していない人	300	197	65.7%	172	57.3%
6	介護保険サービス事業者調査	西東京市内の介護保険関連施設・事業所及び市内地域包括支援センター	261	156	59.8%	156	59.8%
7	介護支援専門員調査	西東京市内の介護保険関連事業所に所属する介護支援専門員	120	89	74.2%	89	74.2%
8	在宅医療と介護に関する調査	市内在住の40歳以上の要介護認定者のうち、令和元年8月に介護保険の訪問看護を利用している人	300	167	55.7%	148	49.3%
9	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	他調査の対象となっていない、市内在住の65歳以上の人のうち、要介護1～5以外の人	2,400	1,794	74.8%	1,764	73.5%
10	医療機関調査	市内の医療機関（病院、一般診療所、歯科診療所、薬局等）	344	177	51.5%	176	51.2%
計			9,125	6,079		5,796	

### 3 各調査の概要

#### (1) 高齢者一般調査

##### ①調査の目的

日頃の生活や健康管理、生きがい等について把握し、高齢者保健福祉施策を検討するための資料とする。

##### ②調査対象

市内の介護保険第1号被保険者（要支援・要介護認定者を除く） 2,400人

##### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

##### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

##### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
2,400	1,766	73.6%	1,738	72.4%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	記入不可の理由
	問1	調査票の記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	同居家族
	付問	同居家族が全員65歳以上か
(2) 日頃の生活	問7	福祉情報の入手先
	付問	情報を入手していない人が希望する福祉情報の入手先
	問8	外出の頻度
	問9	日常生活で困っていること
	問10	困りごとの相談先
	問11	利用している交通手段
	問12	隣近所との付き合い
	付問	あまり近所付き合いのない理由
	問13	地域の行事や活動への参加状況
	付問1	参加している理由
	付問2	参加しない理由
	(3) 健康管理	問14
問15		食事の状況
問16		誰かと食事をする機会
問17		体調を維持するために行っていること
問18		健康維持のために利用したい場所
問19		フレイルの認知度
(4) 医療の状況	問20	かかりつけ医の有無
	問21	かかりつけ歯科医の有無
	問22	かかりつけ薬局の有無

調査項目	問番号	設問
(5) 今後の希望	問 23	長期療養が必要になった場合に希望する居場所
	付問 1	在宅での療養を希望する方の実現可能性
	付問 2	在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問 24	人生の最期を迎えたい場所
	付問 1	在宅での最期の実現可能性
	付問 2	在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問 25	延命治療についての希望
	問 26	今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか
	付問 1	今後の希望についての意向の伝え方
	付問 2	今後の希望についての意向を伝えていない理由
(6) 生きがい	問 27	続けていること、今後行いたい活動
	問 28	できると思う地域等の活動
(7) 認知症	問 29	認知症で心配なこと
	問 30	認知症予防のために取り組んでいること
	付問	認知症予防に取り組まない理由
	問 31	認知症サポーターの認知度
	問 32	認知症の人へ地域でできること
	付問	認知症の人へ何もしない、できないと思う理由
(8) 高齢者虐待	問 33	高齢者虐待につながる可能性があると思うもの
	問 34	高齢者虐待の通報先の認知
(9) 高齢者を支える仕組み	問 35	地域包括支援センターの認知
	付問	自分の担当センターの認知
	問 36	増大する高齢者福祉サービスへの対応方法
	問 37	今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと

## (2) 若年者調査

### ①調査の目的

若年者一般世代（55～64 歳）の日頃の生活や健康管理、介護の経験等について把握し、高齢者保健福祉施策を検討するための資料とする。

### ②調査対象

市内在住の 55 歳～64 歳の人（要支援・要介護認定者を除く） 1,500 人

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年 11 月 27 日から令和元年 12 月 17 日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
1,500	865	57.7%	855	57.0%



## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	記入不可の理由
	問1	調査票の記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	同居家族
(2) 日頃の生活	問7	福祉情報の入手先
	付問	情報を入手していない人が希望する福祉情報の入手先
	問8	隣近所との付き合い
	付問	あまり近所付き合いのない理由
	問9	地域の行事や活動への参加状況
	付問1	参加している理由
	付問2	参加しない理由
	問10	できると思う地域等の活動
(3) 健康管理	問11	健康状態
	問12	誰かと食事をする機会
	問13	体調を維持するために行っていること
	問14	フレイルの認知度
(4) 医療の状況	問15	かかりつけ医の有無
	問16	かかりつけ歯科医の有無
	問17	かかりつけ薬局の有無
(5) 今後の希望	問18	長期療養が必要になった場合に希望する居場所
	付問1	在宅での療養を希望する方の実現可能性
	付問2	在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問19	人生の最期を迎えたい場所
	付問1	在宅での最期の実現可能性
	付問2	在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問20	延命治療についての希望
	問21	今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか
	付問1	今後の希望についての意向の伝え方
	付問2	今後の希望についての意向を伝えていない理由

第1章 調査の概要等

調査項目	問番号	設問
(6) 認知症	問 22	若年性認知症の認知度
	問 23	若年性認知症についての相談先
	問 24	若年性認知症で心配なこと
	問 25	認知症予防のために取り組んでいること
	付問	認知症予防に取り組まない理由
	問 26	認知症サポーターの認知度
	問 27	認知症の人へ地域でできること
	付問	認知症の人へ何もしない、できないと思う理由
(7) 介護の経験	問 28	介護している両親や親戚の有無
	付問 1	介護の形
	付問 2	介護をする上で困っていること
(8) 高齢者虐待	問 29	高齢者虐待につながる可能性があると思うもの
	問 30	高齢者虐待の通報先の認知
(9) 高齢者を支える仕組み	問 31	地域包括支援センターの認知
	付問	自分の担当センターの認知
	問 32	増大する高齢者福祉サービスへの対応方法
	問 33	今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと

### (3) 介護保険在宅サービス利用者調査

#### ①調査の目的

在宅で介護を受けながら生活している高齢者の生活実態を把握するとともに、介護保険サービス、介護予防・生活支援サービスの利用状況及び今後の利用意向などを探る。

#### ②調査対象

要支援・要介護認定者のうち、介護保険居宅サービスを利用している人 1,000人

#### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

#### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

#### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
1,000	612	61.2%	529	52.9%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	記入不可の理由
	問1	調査票の記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	同居家族
	付問	同居家族が全員65歳以上か
(2) 医療の状況	問7	現在の介護度
	問8	かかりつけ医の有無
	問9	かかりつけ歯科医の有無
(3) 今後の希望	問10	かかりつけ薬局の有無
	問11	長期療養が必要になった場合に希望する居場所
	付問1	在宅での療養を希望する方の実現可能性
	付問2	在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問12	人生の最期を迎えたい場所
	付問1	在宅での最期の実現可能性
	付問2	在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問13	延命治療についての希望
	問14	今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか
	付問1	今後の希望についての意向の伝え方
付問2	今後の希望についての意向を伝えていない理由	

調査項目	問番号	設問
(4) 介護保険サービスの利用状況	問 15 (1)	現在利用しているサービス
	問 15 (2)	今後増やしたい、利用したいサービス
	問 16	利用限度額に対するサービスの利用状況
	付問 1	利用限度額を超えている理由
	付問 2	利用限度額内に入っている理由
	問 17①	利用者負担額が高額になった人への軽減制度の認知
	問 17②	施設サービスが高額になった人への軽減制度の認知
	問 17③	生計困難者等に対する利用者負担の軽減制度の認知
	問 18	介護保険サービス利用による生活環境の変化
	付問	生活環境が変わらない、悪くなった理由
	問 19	ケアプランへの希望の反映状況
	問 20	ケアマネジャーへの満足度
	付問	ケアマネジャーへの不満を感じた理由
	問 21	居宅サービスへの満足度
	付問	居宅サービスへの不満を感じた理由
	問 22	介護サービス利用についての考え
	問 23	必要なサービス、手助け
	問 24	介護保険外のサービス利用状況
	付問	利用している介護保険外サービス
	(5) 介護予防、認知症、権利擁護について	問 25
問 26		介護予防・日常生活支援総合事業の認知
問 27		認知症で心配なこと
問 28		成年後見制度について
問 29		日常生活自立支援事業の認知
問 30		地域包括支援センターの認知
付問		自分の担当センターの認知
問 31		今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと
問 32	西東京市の介護保険制度についての意見・要望	

## (4) 介護保険施設・居住系サービス利用者調査

### ①調査の目的

介護保険施設サービス利用者の施設での生活・サービスの利用状況などを把握し、サービス水準の目標設定やサービスと保険料の妥当性などの検討を行うための参考とする。また在宅で暮らし続けるために必要なことを検討する。

### ②調査対象

要支援・要介護認定者のうち、介護保険施設、グループホーム、有料老人ホーム等に入所している人500人

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
500	256	51.2%	169	33.8%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	記入不可の理由
	問1	調査票の記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	現在の介護度
	問5	施設の種類
	問6	入所期間
	問7	家族の状況
(2) 住まい方の希望について	付問	家族の面会の頻度
	問8	今後希望する過ごし方
	付問1	別の施設で過ごしたい人が希望する施設
	付問2	在宅希望者が利用したいサービス
	問9	施設退所後の帰宅先
	問10	帰宅することで問題になること
	問11	現在の施設でのみとりの希望
	問12	現在の施設での生活への評価
	問13	現在の施設での対応への評価
	問14	施設に改善してほしいこと
	問15	施設サービス計画の認知
	付問	施設サービス計画への満足度
	問16	施設利用費の負担感
	付問	利用者負担額の軽減制度の認知
	問17	サービス利用への不満や問題点などの相談先
	付問1	不満や問題点などが改善されたか
付問2	これまでの不満等の内容	
(3) 高齢者虐待	問18	高齢者虐待の経験
	問19	高齢者虐待の通報先の認知
(4) 介護保険制度について	問20	今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと
	問21	西東京市の介護保険制度についての意見・要望

## (5) 介護保険サービス未利用者調査

### ①調査の目的

介護保険サービス未利用者の未利用であった理由と、今後の利用意向などを把握し、適正なサービス利用につなげる方策を検討するための資料とする。

### ②調査対象

要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービスを利用していない人 300人

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
300	197	65.7%	172	57.3%



## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	—	記入不可の理由
	問1	調査票の記入者
	問2	性別
	問3	年齢
	問4	居住地区
	問5	居住形態
	問6	同居家族
	付問	同居家族が全員65歳以上か
(2) 日頃の生活	問7	日中独居の状態
	問8	普段の生活で困ったこと
(3) 医療の状況	問9	かかりつけ医の有無
	問10	かかりつけ歯科医の有無
	問11	かかりつけ薬局の有無
	問12	医療の受診形態
	付問1	受けている医療処置
	付問2	在宅療養を送る上で困っていること
(4) 今後の希望	問13	長期療養が必要になった場合に希望する居場所
	付問1	在宅での療養を希望する方の実現可能性
	付問2	在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問14	人生の最期を迎えたい場所
	付問1	在宅での最期の実現可能性
	付問2	在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問15	延命治療についての希望
	問16	今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか
	付問1	今後の希望についての意向の伝え方
	付問2	今後の希望についての意向を伝えていない理由

調査項目	問番号	設問
(5) 介護保険サービスについて	問 17	現在の介護度
	問 18	要介護認定の申請理由
	問 19	介護保険サービスを利用しない理由
	問 20	内容を知っているサービス
	問 21 (1)	在宅介護サービスの希望
	問 21 (2)	日常生活援助の希望
	問 21 (3)	通所介護サービスの希望
	問 22	増大する高齢者福祉サービスへの対応方法
	問 23	地域包括支援センターの認知
	付問	自分の担当センターの認知
	問 24	今後優先すべき介護保険等のサービス
	問 25	今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと
	問 26	西東京市の介護保険制度についての意見・要望
	(6) 介護者の状況	問 27
問 28		主な介護者の性別
問 29		主な介護者の続柄
問 30		主な介護者の年齢
問 31		主な介護者の居住地
問 32		介護の期間
問 33		1日あたりの介護時間
問 34		要介護者の認知症診断の有無
問 35		介護の負担感
問 36		介護する上で困っていること
問 37		介護者へ必要な支援策

## (6) 介護保険サービス事業者調査

### ①調査の目的

市内の介護サービス事業者について、今後の事業展開、事業課題、市への意見や要望等、主に意向について把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策を検討するための参考とする。なお、同時期実施の国実態調査と整合を取り結果分析での活用を図る。

また、前回まで別調査で実施していた「西東京市・介護従事者処遇状況等に関する調査」の項目も併せて調査する。

### ②調査対象

西東京市内の介護保険関連施設・事業所及び市内地域包括支援センター 261 事業者

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
261	156	59.8%	156	59.8%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) サービスの提供状況	問1	提供している介護保険サービス
	問2	提供している介護保険外サービス
	問3	介護度別の平均利用者数
(2) 事業の運営状況	問4	事業運営上で困難に感じていること
	問5	職員の充足状況
	問6 (1)	現在行っている人材確保の取組
	問6 (2)	今後行いたい人材確保の取組
	問7	特に確保が困難な職種
	問8	早期離職防止や定着促進策
	問9 (1)	実施している研修や資格取得支援
	問9 (2)	事業所内での講習会等の実施状況
	問9 (3)	外部研修への参加支援状況
	問10	医療的ケアへの対応
	問11	医療機関との連携で取り組んでいること
	問12	医療機関との連携における課題
(3) サービスの質の向上への取組	問13	利用者や家族からの苦情の内容
	問14	第三者評価の実施予定
	付問	実施予定がない理由
	問15 (1)	サービス向上に向けた現在の課題
	問15 (2)	サービス向上に向けた今後の取組
	問16	利用者の自立支援を意識したサービス提供の実施状況
	問17	今後のサービス提供の見通し
	付問	事業規模縮小の理由
	問18	I C Tや介護ロボット等の活用意向
	付問	I C Tや介護ロボット等の活用意向がない理由
	問19	外国人の人材受入の意向
	付問	外国人の人材受入の意向がない理由
(4) 地域包括支援センターの4つの役割の機能状況	問20 (1)	介護予防事業のケアマネジメント
	問20 (2)	高齢者や家族への総合的な相談支援
	問20 (3)	虐待の防止、早期発見等の権利擁護事業
	問20 (4)	保健医療の向上、福祉の増進等包括的・継続的支援

調査項目	問番号	設問
(5) 職員の処遇について	問 21	前年比の収支状況
	付問	前年比の収支変化の理由
	問 22	職員の給与引き上げの状況
	付問 1	給与等引き上げの対象者
	付問 2	給与等引き上げの対象要件
	付問 3	給与等を引き上げなかった、引き下げた理由
	問 23	各種手当の引き上げ、新設
	問 24 (1)	処遇全般の改善策
	問 24 (2)	教育・研修の改善策
	問 24 (3)	職場環境の改善策
	問 25	職員の処遇改善を行う上での課題
	問 26	採用・求人に対して市に望むこと
	問 27	人材確保等での有効な取組
(6) 西東京市への要望	問 28	保険者としての西東京市に望むこと
	問 29	介護保険制度全体をよくするために市が力を入れるべきこと
	問 30	西東京市の介護保険制度についての意見・要望

## (7) 介護支援専門員調査

### ①調査の目的

市内に事業所を設置し、市内在住の高齢者の居宅介護計画（ケアプラン）を作成している介護支援専門員について、業務全般の考えや医療と介護の連携の状況、研修参加等のスキルアップの状況や意向等を把握し、今後のケアマネジメントや介護保険サービスの充実に役立てるための参考とする。

### ②調査対象

西東京市内の介護保険関連事業所に所属する介護支援専門員 120人

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
120	89	74.2%	89	74.2%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	勤務形態
	問4	経験年数
	問5	介護支援専門員以外の資格
(2) 事業所について	問6	西東京市内の利用者の割合
	問7	その他の介護保険サービスの運営の有無
	付問	運営している介護保険サービス
	問8	ケアマネジメントする上で困難を感じる事
	付問	市や地域包括支援センターに相談がしにくい理由
	問9	困難ケースへの対応
	問10	自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできているか
	付問	自立支援のケアプラン作成が十分でないと思う理由
	問11 (1)	量的に不足しているサービス
	問11 (2)	組み入れにくいサービス
	付問	組み入れにくい理由
(3) 介護保険外サービス	問12	ケアプランに加えたことがある介護保険外サービス
	付問1	ケアプランに加えた市の高齢者福祉サービス
	付問2	ケアプランに加えた市の高齢者福祉サービス以外のサービス
	問13 (1)	量的に不足している市の高齢者福祉サービス
	問13 (2)	量的に不足している市の高齢者福祉サービス以外のサービス
	問14	介護保険外サービスのケアプランへの追加意向
(4) スキルアップ	問15	1年以内の研修や講習会への参加の有無
	付問	研修や講習会に参加しなかった理由
	問16	今後参加してみたい研修や講習会
	問17	医学的な情報の把握
	問18	関係機関、職種との連携状況
	問19	在宅療養で不足している機能
(5) 西東京市への要望	問20	これからの地域包括支援センターに期待すること
	問21	保険者（西東京市）との連携状況
	問22	介護保険制度全体をよくするために市が力を入れるべきこと
	問23	西東京市の介護保険制度についての意見・要望

## (8) 在宅医療と介護に関する調査

### ①調査の目的

在宅で療養生活を送っている要介護認定者の在宅療養生活の状況や今後の希望などを把握し、在宅療養環境の整備の方策を検討するための参考とする。

### ②調査対象

市内在住の40歳以上の要介護認定者のうち、令和元年8月に介護保険の訪問看護を利用している人 300人

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
300	167	55.7%	148	49.3%



## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	問1	生活している場所
	問2	調査票の記入者
	問3	性別
	問4	年齢
	問5	居住地区
	問6	同居家族
	付問	同居家族が全員65歳以上か
	問7	現在の介護度
(2) 医療の状況	問8	日中独居の状態
	問9	かかりつけ医の有無
	問10	かかりつけ歯科医の有無
	問11	かかりつけ薬局の有無
	問12	療養が必要になった主な原因
	問13	在宅医療の期間
	問14	受けている医療処置
	問15	急変時の連絡先
	問16	在宅療養を送る上で困っていること
	問17	医療の受診形態
	問18	訪問診療の医療機関の見つけ方
	問19	在宅医療への満足度
	問20	1か月あたりの通院回数
	問21	通院方法
	問22	通院時の移動手段
問23	訪問診療を受けていない理由	
(3) 退院時のことについて	問24	在宅療養前の入院経験
	付問1	退院支援の援助への満足度
	付問2	退院支援の援助における不満

調査項目	問番号	設問
(4) 今後の希望	問 25	今後の療養生活で希望する居場所
	付問 1	在宅での療養を希望する方の実現可能性
	付問 2	在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問 26	人生の最期を迎えたい場所
	付問 1	在宅での最期の実現可能性
	付問 2	在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由
	問 27	延命治療についての希望
	問 28	今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか
	付問 1	今後の希望についての意向の伝え方
	付問 2	今後の希望についての意向を伝えていない理由
(5) 介護者の状況	問 29	主な介護者の性別
	問 30	主な介護者の年齢
	問 31	主な介護者の居住地
	問 32	介護の期間
	問 33	1日あたりの介護時間
	問 34	介護者本人の要介護認定の有無
	問 35	介護の負担感
	問 36	介護する上で困っていること
	問 37	医療や介護サービスへの意見・要望

## (9) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ①調査の目的

国が示した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を利用し、市内在住の65歳以上（要介護1～5を除く）の高齢者の家族や生活状況、身体機能の状況などを把握し、生活支援の必要性等を検討するための参考とする。

### ②調査対象

他調査の対象となっていない、市内在住の65歳以上の人のうち、要介護1～5以外の人 2,400人

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
2,400	1,794	74.8%	1,764	73.5%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	問1	記入日
	問2	調査票の記入者
	問3	性別
	問4	年齢
	問5	要支援認定の状況
	問6	居住地区
(2) 家族や生活の状況	問7	家族構成
	問8	介護・介助の必要性
	付問1	介護・介助が必要になった原因
	付問2	主な介護・介助者
	問9	現在の経済状況
	問10	居住形態
(3) 身体機能の状況	問11	階段を手すりや壁をつたわずに昇ること
	問12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること
	問13	15分位続けて歩くこと
	問14	過去1年以内に転んだ経験
	問15	転倒に対する不安
	問16	外出の頻度
	問17	昨年と比較した外出の頻度
	問18	外出を控えているか
	付問	外出を控えている理由
	問19	外出する際の移動手段
(4) 食事の状況	問20	身長・体重
	問21	半年前に比べ固いものが食べにくくなったか
	問22	お茶や汁物等でむせることがあるか
	問23	口の渇きが気になるか
	問24	歯磨きを毎日しているか
	問25	歯の数と入れ歯の利用状況
	付問1	噛み合わせは良いか
	付問2	入れ歯の手入れをしているか
	問26	6ヶ月間で2～3kgの体重減少があったか
	問27	誰かと食事をする機会

調査項目	問番号	設問
(5) 日頃の生活について	問 28	物忘れが多いと感じるか
	問 29	自分で電話番号を調べ、電話をかけるか
	問 30	今日が何月何日かわからない時があるか
	問 31	バスや電車を使って1人で外出しているか
	問 32	自分で食品・日用品の買物をしているか
	問 33	自分で食事の用意をしているか
	問 34	自分で請求書の支払いをしているか
	問 35	自分で預貯金の出し入れをしているか
	問 36	年金などの書類が書けるか
	問 37	新聞を読んでいるか
	問 38	本や雑誌を読んでいるか
	問 39	健康についての記事や番組に関心があるか
	問 40	友人の家を訪ねているか
	問 41	家族や友人の相談にのっているか
	問 42	病人を見舞うことができるか
(6) 地域での活動について	問 43	若い人に自分から話しかけることがあるか
	問 44	趣味はあるか
	問 45	生きがいはあるか
	問 46	地域での活動への参加頻度
(7) 助け合いについて	問 47	地域活動への参加者としての参加意向
	問 48	地域活動への企画・運営としての参加意向
	問 49	地域の方から何らかの役割を期待されたり、頼りにされているか
	問 50	心配事や愚痴を聞いてくれる人
	問 51	心配事や愚痴を聞いてあげる人
	問 52	看病や世話をしてくれる人
	問 53	看病や世話をしてあげる人
(8) 健康管理	問 54	何かあった時に相談する相手
	問 55	友人・知人と会う頻度
	問 56	この1か月で会った友人・知人の数
	問 57	よく会う友人・知人との関係
	問 58	現在の健康状態
	問 59	現在の幸福度
	問 60	この1か月で気分が沈んだりゆううつな気持ちになったことがあるか
(9) 認知症について	問 61	この1か月で物事に興味がわからない、楽しめないことがあったか
	問 62	飲酒習慣の有無
	問 63	喫煙習慣の有無
	問 64	現在治療中又は後遺症のある病気
(9) 認知症について	問 65	認知症の症状のある人がいるか
	問 66	認知症に関する相談窓口の認知

## (10) 医療機関調査

### ①調査の目的

医療機関の在宅医療の取組状況、医療と介護の連携などを把握し、施策を検討するための資料とする。

### ②調査対象

市内の医療機関（病院、一般診療所、歯科診療所、薬局等） 344 機関

### ③調査方法

郵送配付、郵送回収（礼状督促1回送付）

### ④調査時期

令和元年11月27日から令和元年12月17日まで

### ⑤回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B÷A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D÷A)
344	177	51.5%	176	51.2%

## ⑥調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 医療機関の現況	問1	記入者の職種
	問2	医療機関の種類
	問3	在宅医療の実施
	問4	在宅医療を実施する上での課題
(2) 在宅医療の取組状況 (病院以外)	問5(1)	一般診療所の在宅医療の実施状況
	問5(2)	歯科診療所の在宅医療の実施状況
	問5(3)	薬局の在宅医療の実施状況
	問6	令和元年10月の1か月間における在宅医療患者数
	付問	さらに対応できる在宅医療患者数
	問7	在宅医療を行う区域や距離の設定
	問8	在宅医療を行う時間帯の設定
(3) 退院支援・退院調整 (病院のみ)	問9	入院時からの介護関係者との連携
	問10	1年間の市内退院先への退院件数及び退院時カンファレンス実施件数(65歳以上市民)
	問11	退院支援における課題
	問12	退院支援で連携が難しいと思う施設、事業所
	付問	施設や事業所との連携が難しい理由
(4) 医療と介護の連携	問13	医療と介護の連携状況
	付問1	医療と介護の連携方法
	付問2	連携が不十分だと思う理由
	問14	患者に関わる関係機関、職種との連携状況
	問15	介護事業者との連携でのトラブル経験
	付問	具体的な問題やトラブル
	問16	医療職と介護職の連携のために充実すべきこと
	問17	在宅療養連携支援センターの認知度
	問18	医療と介護の連携についての意向
問19	医療と介護の連携についての意見・要望	

